

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		令和5年第4回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		令和5年2月16日（木）	場 所		教育長室		
会 議 時 間		（開会）午後1時00分～（閉会）午後2時50分					
休 憩 時 間		①（休憩）午前・午後1時20分～（再開）午前・午後2時00分 ②（休憩）午前・午後時 分～（再開）午前・午後時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	吉原 慎吾	欠席	委員	中惣 恭子	出席
		委員	村井 啓介	出席	出席委員 3名 欠席委員 1名		
出席説明者	教育次長 林 政憲		出席	教育次長(社会教育担当) 横山 昭博		出席	
	シニアマネージャー 中田 一宏		出席	教育庶務課長 東谷 勝美		出席	
	次長兼学校教育課長 岩脇 司		出席	教育研究センター所長 表 久美子		出席	
	生涯学習課長兼未来型図書館づくり推進チーム課長 坂下 義規		出席	図書館長兼南部図書館長 梶谷 外希子		出席	
	ひととものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席	市立高校事務長 出口 真澄		出席	
書記	教育庶務課主幹 北野 芽未		出席				
傍 聴 者		0 名					
会議に付した議題	【議案】						
	・議案第4号 小松市学校給食条例の制定について（学校教育課）						
	・議案第5号 小松市学校給食条例施行規則の制定について（学校教育課）						
	・議案第6号 令和5年度小松市奨学金支給奨学生について（学校教育課）						
	・議案第7号 小松市社会教育振興基金条例の一部を改正する条例について （生涯学習課）						
	・議案第8号 小松市社会教育振興基金条例施行規則の制定について（生涯学習課）						
	・議案第9号 小松市放課後児童健全育成事業に関する条例施行規則の一部改正 について（生涯学習課）						
	【報告事項等】						
	・寄附受納について（教育研究センター）						
	・サイエンスアドベンチャーについて（教育研究センター）						
	・令和5年度市立公民館生涯学習講座について（生涯学習課）						
・第5回小松市未来型図書館基本構想策定委員会の開催状況について（生涯学習課）							

教 育 委 員 会 報 告

令和5年2月16日

【議案】

件 名	議案第4号 小松市学校給食条例の制定について
所管部課名	学校教育課
内 容	令和6年度より学校給食の公会計化を導入するため、学校給食の実施、学校給食費の徴収など必要事項を定めた小松市学校給食条例を制定するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第4号 承認

件 名	議案第5号 小松市学校給食条例施行規則の制定について
所管部課名	学校教育課
内 容	学校給食費の額、納期限など小松市学校給食条例の施行に関する必要事項を定めるため、小松市学校給食条例施行規則を制定するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第5号 承認

件 名	議案第6号 令和5年度小松市奨学金支給奨学生について
所管部課名	学校教育課
内 容	非公開
教育委員等の意見	非公開
	議案第6号 承認

件 名	議案第 7 号 小松市社会教育振興基金条例の一部を改正する条例について
所管部課名	生涯学習課
内 容	防衛相より本市に交付される再編関連訓練移転等交付金等を基金に積み立てるため、小松市社会教育振興基金条例の一部改正するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 7 号 承認

件 名	議案第 8 号 小松市社会教育振興基金条例施行規則の制定について
所管部課名	生涯学習課
内 容	再編関連訓練移転等交付金により積み立てた基金を処分する事業、管理方法等を定めるため、小松市社会教育振興基金条例施行規則を制定するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 8 号 承認

件 名	議案第 9 号 小松市放課後児童健全育成事業に関する条例施行規則の一部改正について
所管部課名	生涯学習課
内 容	要件を満たしたうえで県が実施する研修を修了した者が放課後児童支援員と認定される。経過措置として令和 5 年 3 月 31 日までに研修を修了する予定者も認定してきたが、引き続き、一定期間中に研修を修了する予定者も放課後児童支援員とみなすものとする。 また、苗代児童館の移転に伴い、苗代児童クラブ 1 ～ 4 の所在地を変更するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 9 号 承認

【報告事項等】

件 名	寄附受納について
所管部課名	教育研究センター
内 容	学校教育における情報教育充実のためとして、株式会社 勝木太郎助商店 代表取締役 勝木氏より配信用デジタルビデオカメラ等一式のご寄附をいただいた。3月6日に感謝状を贈呈する予定。
教育委員等の意見	特になし

件 名	サイエンスアドベンチャーについて
所管部課名	教育研究センター
内 容	1月28日に湯浅・中山賞受賞者研究発表会及びものづくりチャレンジを行った。新型コロナ感染症の影響もあり、3年ぶりの開催。 湯浅・中山賞の発表は、受賞者のうち4名が行った。 ものづくりチャレンジの課題は「よく回るこまをつくって回そう」であり、参加児童は真剣に制作に取り組み、工夫をする姿が見られた。
教育委員等の意見	【北村委員】 児童32名、保護者22名の内訳を教えてください。 検証すること、自ら人前で発表すること、参加者から感想をいただくことはとても意義のあること。この発表会だけでなくそれぞれの学校でも発表し、市内の児童がもっと科学に興味をもつとよい。
回 答	【表教育研究センター長】 児童32名は参加を希望した人数。学校を通じてチラシを配布し、希望した児童とその保護者が参加した。

件 名	令和5年度市立公民館生涯学習講座について
所管部課名	生涯学習課
内 容	地域の生涯学習の拠点となる市立公民館において、市民の文化、教養の向上及び健康の増進等を目的に、年間を通じて様々な生涯学習講座を開催している。 4月からの講座開始にあたり、広報こまつ3月号に講座情報を掲載し、広く市民に周知する。 令和5年度は公民館9館で85講座を開催予定。

教育委員等の意見	【中惣委員】 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のために人数制限をしていたが、今年度はどのようにしているか。 【北村委員】 令和5年度で新規の講座はあるか。 毎年同じ講座ではなく、市民の要望を聞いて新しいものを取り入れ改善していくことに意義がある。
回 答	【坂下生涯学習課長】 現在、国はマスクの着用をしなくてもよいとする方針に向かっていく。国の方針を踏まえたうえで感染対策については考えていきたい。基本的にはマスク着用は求めない方向で考えている。人数制限は現在行っておらず、基本的な対策をとったうえで講座を開催している。引き続きこの体制でいきたい。 講座は例年を踏まえたうえで少しずつ改変している。やさしいまちづくり等が新規の講座である。 地域のみなさんと一緒にできる講座、地域の課題を解決するような講座などをこれから考えて実施したい。 【石黒教育長】 大人も勉強し直して物事を考えていくことが求められている。今ある講座の必要性和新しい講座の必要性和両面から考えていくことが大事。

件 名	第5回小松市未来型図書館基本構想策定委員会の開催状況について
所管部課名	生涯学習課
内 容	未来型図書館基本構想の策定にあたり、第5回策定委員会を2月6日に開催した。議論の主な内容は、①未来型図書館の立地候補エリアについて②小松市未来型図書館基本構想素案についてである。令和5年3月末に基本構想を策定予定。
教育委員等の意見	【中惣委員】 4月1日から自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されるが、シェアサイクルの場合はヘルメットをどのようにするのか。 シェアサイクルは健康的であり利便性もあるため、前向きに検討していただきたい。 【北村委員】 県立図書館にたくさんの入館者が来ているが、金沢市立図書館がその影響を受けている。南部図書館の役割や連携などを考えて開館してほしい。ソフト面は開館以降検証しながら変えていき、市民のニーズに応えるような図書館にしてほしい。

回 答	【坂下生涯学習課長】 シェアサイクルは、策定委員会の委員の皆様のご意見として伺った。未来型図書館の具体的な内容や何が必要かということは、令和5年度以降に検討していきたい。
-----	---

【その他】

件 名	次回教育委員会会議日程について
内 容	日時：令和5年3月9日（木）午前10時30分 場所：市役所6階 教育長室

【教育委員からの意見・提言】

中惣委員	立志式に出席した。子どもたちは来賓の話をしっかり聞いていた。代表者は志をたてることを真剣に考えてきちんと自分の意見を持ってあいさつをしていた。大変有意義な会である。お世話していただいた先生方、地域の皆様に心よりお礼を申し上げたい。
村井委員	人と人との対面での交流が、新型コロナを境に様変わりした。スポーツの現場でも、コロナ前とコロナ後で大きく様変わりしたと感じている。 部活動の地域移行は学校部活動の在り方が大きく変わるきっかけになる。単に地域に移行するだけではなく、スポーツの価値、社会的な存在意義をこれを機に大きく高めてほしい。
北村委員	マスクをしていることで表情が大変わかりにくい。コミュニケーション能力に大変影響している。早くマスクを外してほしい。小松市教育委員会として卒業式、入学式、学校活動でどう対応するのか、その理由も教えてほしい。 ある私立高等学校の不合格者が多く、生徒や保護者が不安を抱いていると聞いている。教育委員会から各中学校にどのような方針を伝えているか教えてほしい。 今年度のデータ等を集め、高校受験に対する進学指導をしっかりと行なってほしい。 【石黒教育長】 文部科学省の方針に沿って対応していく。科学的な根拠が明らかになっていないため、国の方針以上のことはやれない。できるかぎりマスクは外す、ただし個人の判断による。一概に強制はできない。合唱は口から飛沫が飛ぶため、マスクを着用する予定。卒業式はみんなで祝福してあげたい、在校生も保護者もできるだけ体育館に入れてあげたい、と考えている。消毒、検温、換気、生徒同士の間隔を保つなど対策をしっかりと、精一杯していきたい。

	教育委員会は私立高等学校には何の影響力もない。かわいそうな状況にある生徒については、精一杯中学校から次に向けて意欲がわくように支援していきたい。 中学校として進学指導はしっかりとしている。今年度はイレギュラーな状況である。来年度はいろんな情報を取り入れて、高校とも連携を取りながら行っていきたい。
--	--